

## ASV 2018における海外論文発表



目で見る  
海外論文発表

平野 順紀\*

ASV2018 conference in America

Key Words : HCV, Virus, Virology

<参加会議名>

37<sup>th</sup> Annual Meeting of the American Society for Virology

<開催場所> アメリカ合衆国、メリーランド州、カレッジパーク

<渡航期間> 7/13 ~ 7/19

<発表タイトル> Characterization of SPP inhibitors suppressing the propagation of HCV

7月13日から7月19日までの一週間、アメリカのメリーランド州カレッジパークで行われた米国ウイルス学会に参加しました。本学会はウイルス学に関連した新規の知見を議論する国際学会であり、ヒトだけではなく動物・植物・昆虫や微生物のウイルスなど多様なウイルスについて、臨床分野から分子メカニズムに至るまで幅広い観点からの発表が行われました。ジカウイルスやデングウイルスといった昨今世間を賑わせているウイルス感染症について最新の研究成果に触れることができるとともに、普段はあまり耳にする機会のない昆虫や微生物といった異分野のウイルス学についても勉強することができました。学会の間、朝9時から夜の10時までセッションは続き、その間常にウイルス学を聞いて過ごす内容の濃い7日間でした。

今回私は、ヒトの肝臓に慢性感染して様々な肝疾患を起こすC型肝炎ウイルスというウイルスについて、ウイルス増殖を抑制する作用を持った低分子化合物の効果に関する検討を発表しました。私の研究テ-

マは、低分子化合物間の構造の差や、薬剤標的となるタンパク質側の立体構造とその結合様式について考察するもので、ウイルス学分野では異色のものであったと思いますが、理解してもらえようスライド構成を何度も推敲し、先生方のご指導のもと練習を重ねました。国際学会での口頭発表は初めての経験ということもあり、本番では大変緊張しましたが、練習の甲斐あってか無事に発表を終えることができました。

本学会を通して、私が研究しているHCVや、近縁ウイルスについて他研究グループの実験の進捗状況や研究成果について知ることができ、大変有意義な時間を過ごすことができたとともに、様々な研究分野の発表を聞くことで見識を深める事ができたと思います。また、海外留学されている研究室の先輩方のお話を聞く機会もあり、大変刺激になりました。最後に、本学会発表にご支援頂きました生産技術振興協会様に心よりお礼申し上げます。



写真1 口頭発表の様子



写真3 リンカーン記念堂

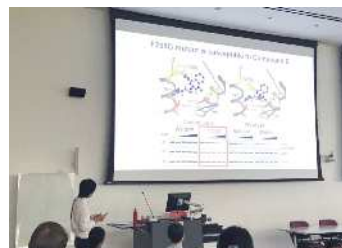


写真2 口頭発表の様子(2)



写真4 ワシントン記念塔



\* Junki HIRANO

1991年11月生まれ  
大阪大学大学院医学系研究科医科学専攻  
(2015年)

現在、大阪大学大学院医学系研究科 医学専攻 松浦研究室 学生(博士後期課程2年) 医学修士 医科学

TEL : 06-6879-8343

FAX : 06-6879-8269

E-mail : kamati1101@biken.osaka-u.ac.jp